

## 災害時等健康危機管理支援の取組み

### 【事業名】

中ブロック災害時における栄養・食生活支援ネットワークに関する研修会  
(三保健所管内特定給食研究会合同講演会)

### 【目的】

災害の発生に備え、市町村、保健所、関連機関等との連携を強化することを目的とし、大阪府八尾・藤井寺・富田林保健所管内特定給食研究会及び三保健所の共催にて、地域の関係機関を対象にネットワークづくりを推進する。

### 【対象】

中ブロック保健所管内特定給食施設関係者、地域活動栄養士、食生活改善推進員、  
中ブロック保健所管内市町村栄養行政担当者

### 【主催】

大阪府八尾・藤井寺・富田林保健所管内特定給食研究会  
大阪府八尾・藤井寺・富田林保健所

### 【内容】

(1) 日 時 平成24年10月18日(木) 午前9時45分～12時

(2) 場 所 八尾商工会議所3階 大ホール

(3) 参加者

特定給食施設 … 87施設 93名

保健所関係機関・団体 … 13機関 29名 合計122名

(4) 内 容

#### 1 講演

「想定を超える災害にどう備えるか～釜石市津波防災教育に学ぶこれからの地域防災」

講師 群馬大学大学院工学研究科 教授 片田敏孝氏

#### 2 グループワーク

「各施設の備蓄状況について」

地域ごとに19グループに分かれ、特定給食研究会会員施設対象に実施した「災害発生時の食事確保のための対策に関するアンケート」結果を活用し実施された。

### 講演内容

●釜石の子供たちへの津波防災教育を例に、学校から家庭・地域へ防災教育が浸透し、世代間で知恵が継承され、地域に災害文化として定着する事の重要性についてご講演いただいた。

●釜石の津波防災教育で伝えられていること  
・「大いなる自然の営みに畏敬の念を持ち、行政に委ねることなく、自らの命を守ることに主体的たれ」

・非難3原則：「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」



## 講師紹介

片田敏孝



群馬大学広域首都圏防災研究センター長

群馬大学大学院工学研究科教授

専門は災害社会工学。

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。また、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。

## 【結果】

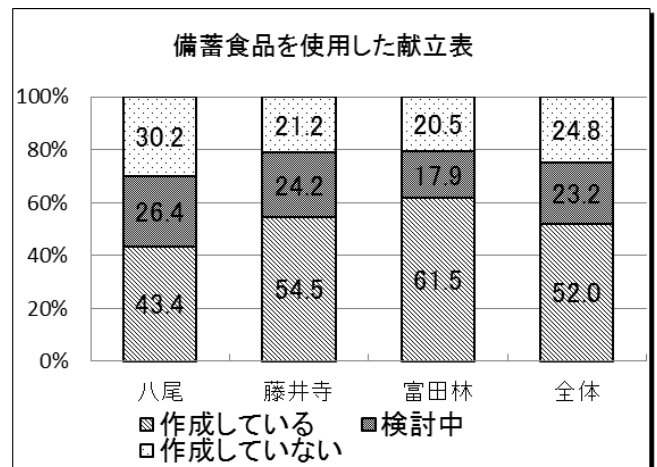
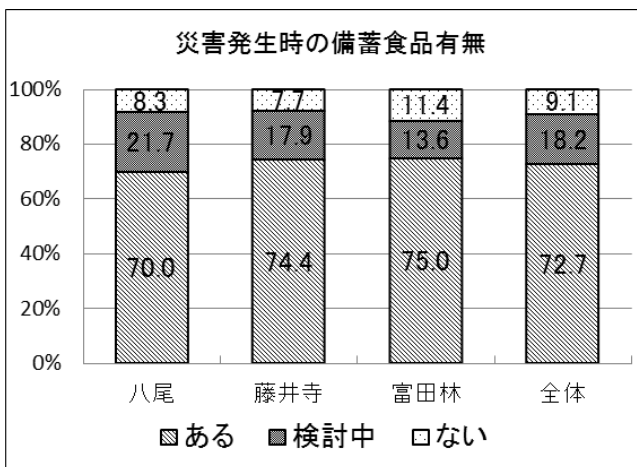
### (1) 研修の成果

- 平成 22 年度から毎年開催している本研修会の役割や、地域で結束することの必要性を再確認する良い機会となった。
- 地域単位でのグループワークにより近隣施設や関係者の状況を確認することができ、顔の見える関係づくりの一步となった。

### (2) 災害発生時（食中毒発生時除く）の食事確保のための対策

（三保健所管内特定給食研究会が実施した会員アンケート結果より、一部抜粋）

- 回答施設は約 9 割以上が病院・福祉施設・保育所の特定給食施設
- 備蓄食品の保管率に比べると、備蓄食品を使用した献立表を作成している施設は半数程と少なく、災害時の備蓄食品の迅速な活用に不安が残る。



## 【課題と今後の方向】

栄養・食支援に関する施設、行政、その他関係機関の平常時における準備の充実、及び各機関・団体の連携強化を図ることが今後の課題であり、今後も研修会を継続し、地域における栄養・食支援ネットワークを推進していく。